

「ユニバーサルデザイン」って何だろう？



建築や製品のデザインに使われてきた言葉で、「誰にとっても便利なデザイン」という考え方です。

全ての児童生徒が学びやすい授業

本研究における全ての児童生徒が学びやすい授業とは、「障害の有無等にかかわらず、全ての児童生徒が、学習活動に参加している実感や授業内容を理解した達成感をもつことができる授業」と捉えます。

平成26年度佐賀県教育センター特命研究より

「ユニバーサルデザイン」の考えをどのように授業づくりに取り入れたらいいの？



「ユニバーサルデザイン」の視点として「環境の工夫」「組立ての工夫」「説明の工夫」「個人差への配慮」の4つを考えました。これらの4つの視点に応じた支援を意図的に取り入れたらいいですよ。

「ユニバーサルデザイン」の4つの視点

「環境の工夫」「組立ての工夫」「説明の工夫」の視点に応じた支援は、学級全体の児童生徒に対して行う支援です。「個人差への配慮」の視点に応じた支援は、学級全体に対する支援を取り入れるだけでは学習活動に参加したり授業内容を理解したりすることが難しい児童生徒に、個別に行う支援です。

これらの4つの視点に応じた支援を意図的に取り入れていくことで、全ての児童生徒が学びやすい授業づくりにつながります。

「ユニバーサルデザイン」の4つの視点については [こちらへ](#)

これまでの授業における支援の傾向を知るためにチェックシートを活用してください。

チェックシートは、項目に沿ってチェックしていただくからとっても簡単です。チェック項目は30に精選されているから短時間でできますよ。自分の授業の傾向が分かるから、授業改善にも役立ちます。

チェックシートはいつ記入すればいいの？



チェックシートは、単元や学期ごとなど定期的に記入することで自分の授業を見直すことができます。繰り返し使うことで授業改善が図られるので、継続的な使用がおすすめです！



「ユニバーサルデザイン」の4つの視点

環境の工夫

- ・教室環境を整える
- ・学習に関するルールを決める



教室前面の掲示物をカーテンで隠す

詳しくはホームページをご覧ください。他にも支援例を紹介しています。



既習事項を教室の横に掲示する



話し合いをするときのルールを決める

組立ての工夫

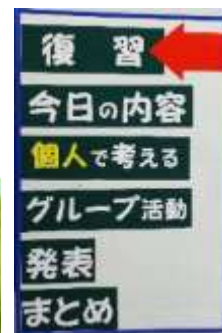
- ・授業の見通しをもたせる
- ・授業構成や学習形態を工夫する



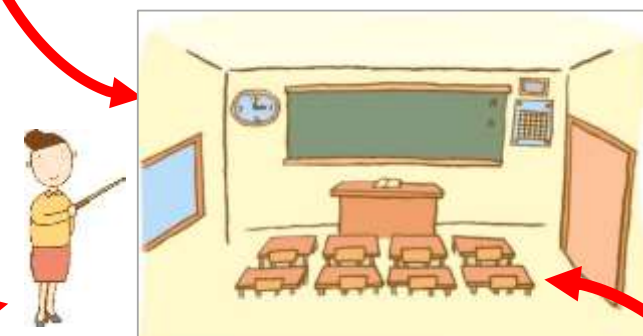
タイマーを用いて活動時間を明確にする



個人や全員で考える活動を取り入れる



学習活動の流れを掲示する



説明の工夫

- ・教師の話し方を工夫する
- ・黒板の使い方を工夫する
- ・ワークシート等の教材の使い方を工夫する



書画カメラと電子黒板で発表者のワークシートを提示する



ワークシートを拡大したものを黒板に掲示する



視覚的な情報を提示しながら説明する

個人差への配慮

- ・聞くことが苦手
- ・書くことが苦手
- ・読むことが苦手
- ・話すことが苦手
- ・見ることが苦手
- ・注意を持続することが苦手
- ・周りと学力に差がある
- ・発達に偏りがある



絵や図等の視覚的な情報を提示しながら説明する



児童が興味をもっているものを学習に取り入れる

小・中学校の通常学級及び高等学校における全ての児童生徒が学びやすい授業づくりの在り方

ー「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業実践を通してー

全ての児童生徒が学びやすい授業



「ユニバーサルデザイン」の視点に応じた支援



佐賀県教育センター

詳しい内容については、ホームページをご覧ください。

ホームページへは

佐賀県教育センター

検索

研究・調査

授業に役立つ実践研究

27年度の研究成果

■お問い合わせ先■

佐賀県教育センター
生徒指導担当

TEL 0952-62-5211
MAIL cent_shidou@mail.saga-ed.jp

P lan (実態把握)

- 授業前にチェックシートに記入することで、これまでの授業における支援の傾向と、個別に配慮が必要な児童生徒の実態を把握します。
- チェックシートの結果を基にして授業案をつくります。

チェックシートについて

チェックシートは、授業者が授業における「ユニバーサルデザイン」の視点に応じた支援の状況を把握することができます。また、どのような視点に応じた支援を取り入れると、全ての児童生徒が分かりやすい授業につながるのかを考えることができます。

「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業のためのチェックシート

このチェックシートは、各センターにおけるこれまでの授業内容を基に「ユニバーサルデザイン」の視点をもつて、授業における支援の状況に応じた支援の状況を把握できるように作成しました。どのような視点に応じた支援を取り入れると、全ての児童生徒が分かりやすい授業につながるのかを考えることができます。ここに挙げている項目が支援の目安ではありません。4つの視点に応じた支援例も作成していますので、活用してください。

環境の工夫	1 教室の教材や掲示物、連絡事項等の配置を整理している。	○
	2 授業で使う資料は、授業に必要なものを整理し、見出しをつけている。	○
	3 学習用具の管理(整理や忘れ物、ワークシートの保管等)についての指導を工夫している。	○
	4 課題の提出についての指導を工夫している。	○
	5 発表や話し合いの仕方等、授業のルールを決めている。	○
組立ての工夫	6 「導入-展開-まとめ」の順に、基本となる授業の流れを決めている。	○
	7 授業の導入の段階で、その授業の学習内容や学習活動の流れを示している。	○
	8 授業の導入の段階で、本時の目標を明確にしている。	○



私は、「説明の工夫」と「個人差への配慮」が少ないよね。次の授業では、ここを工夫してみようかな。



D o (授業実践)

- 「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業を実践します。

- ・環境の工夫
- ・組立ての工夫
- ・説明の工夫
- ・個人差への配慮



小学校4年生 国語科の授業実践



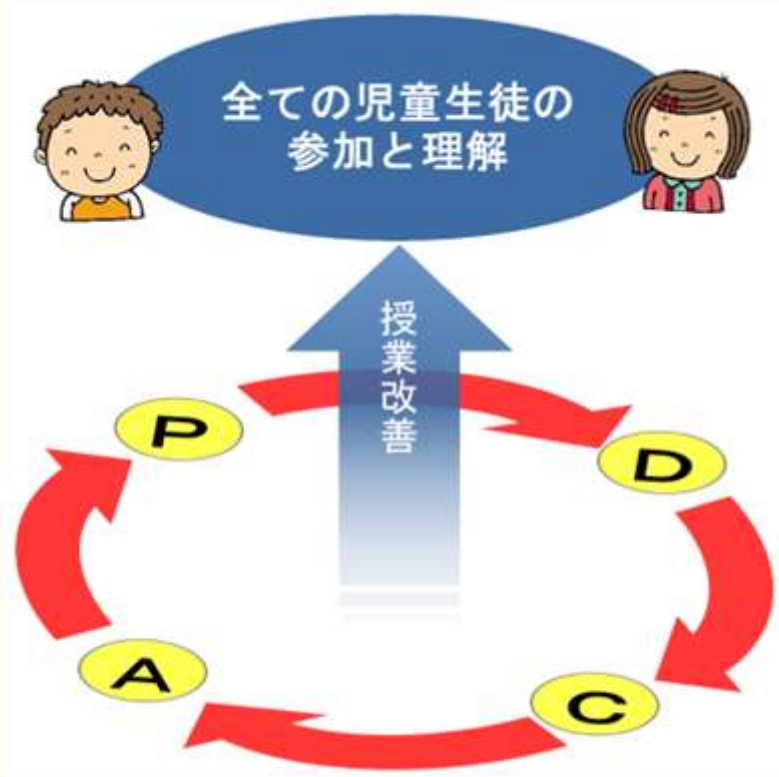
高等学校2年生 農業科の授業実践



小学校2年生 算数科の授業実践



小学校2年生 算数科の授業研究会



A ction (授業改善)

- 成果と課題を基に、継続して行う支援や新たに取り入れたい支援などを検討します。

環境の工夫



場に応じた声の大きさを視覚的に示す

説明の工夫



話し合いの役割を図を使って視覚的に提示する



具体物を提示しながら説明する

組立ての工夫



授業の始めに前時の振り返りを行う



ペア学習を取り入れる

個人差への配慮



書くことが苦手な児童への支援(授業の流れに沿ったワークシートを用意する)

C heck (授業評価)

- 児童生徒アンケートや授業者アンケート等による授業の評価をします。
- チェックシートの結果を基に、取り入れた支援の成果と課題をまとめます。

電子黒板にワークシートが写されたので、どこに書くのがすぐに分かったよ。

チェックシートの結果を基にして取り入れた支援は、有効だったみたいね。

観点	取り入れた支援	成果(○)と課題(●)	新たに取り入れたい支援
環境の工夫	・許文「書きやすくするための「言葉の資料」や「マップ」を準備	○ホワイトボードを互換性のある学習活動を認認し、 ●机上よりホワイトボードが落ちることが度々あった。	・改善「学習活動の流れを掛ける」
組立ての工夫	・チェックシートの結果を基に、授業で取り入れた支援を、「ユニバーサルデザイン」の4つの視点ごとに記入します。 ・トボードに活動内容を書く。	授業後の児童生徒アンケートや授業者アンケート等から、取り入れた支援が児童生徒にとって有効であったかについて、成果と課題としてまとめます。 ●机上よりホワイトボードが落ちることが度々あった。	授業後の成果と課題を基に、新たに取り入れたい支援や継続して行う支援としてまとめます。

2学期の授業後も、授業評価及び授業改善の方向性を検討し、1枚のシートにまとめました。

2 2学期の授業の実践【単元「動物が出てくる物語の『心に響く名文』発表会を〜】

(1) 2学期の授業づくりにおける支援の傾向と口の実態

実践授業までの授業づくり

2学期の授業前のチェックシートの結果をレーダーチャートで示しました。

チェックシートの結果から、授業者がこれまでの授業づくりにおける支援の傾向を整理しました。また、学級の様子やつまずきが予想される児童生徒の実態を示しました。1学期の授業後の授業改善の方向性を検討し、1枚のシートにまとめました。